

「マイチャレンジ」に投稿する単元案の作成要領

単元案の概要は大きく①関連情報、②学習目標、③学習活動、④評価活動から構成されます。

関連情報

● 単元名

- ・単元の内容や対象とする生徒がイメージできるように単元の名称を作成する。

● 使用教材

- ・教科書に限らず、プリント資料やワークシート、写真やウェブサイト、レアリアなどを記入する。

● 話題分野

- ・「学習のめやす」で設定した15の話題分野から1つまたは複数の話題分野を選ぶ。

● 言語レベル

- ・「学習のめやす」が設定する1-4のいずれの言語レベルかを記入する。

● 必要時間数

- ・1コマの時間と必要なコマ数を記入する。

単元目標

この単元の学習を終えたときに達成してほしい全体の学習目標を記入する。

コミュニケーション能力指標

- ・単元を終えた時点で達成される個々の学習目標を、「学習のめやす」のコミュニケーション能力指標一覧を参考に記入する。
- ・一つの単元では、複数のコミュニケーション能力指標が達成されることが望ましい。
- ・新しい指標を作成する、または、既存の指標の一部のみを目標として設定してもかまわない。

学習活動の流れ

● 語彙・表現の習得活動

- ・学習シナリオの一連の学習活動を実施するために事前に習得しておく必要のある語彙や表現の習得活動をコンパクトに記述する。

例:「クラスの何人かと自己紹介(住んでいるところや血液型、誕生日、星座、家族の職業や外観など)をしあい、聞いたことをもとに相手の紹介カードを作る」

● 一連のコミュニケーション活動(学習シナリオ)

- ・学習到達目標(コミュニケーション能力指標)を達成するために行われる、連續性およびストーリー性をもつ一連のコミュニケーション活動を要約したものを、以下の要領で作成する。

① <場面状況>

活動のねらい(状況、場面、相手、理由)、すなわち一連の活動の大きなコンテクスト(文脈)を冒頭で提示する

例:「希望高校で韓国語を学習する二年生は、釜山の姉妹校から生徒を迎えることになった。」

② <活動の流れ>

一連のコミュニケーション活動の内容や方法を時系列に分かりやすく記述する。

例:「交流会の前に、クラスで、中国語で名刺を作る作業をし、名刺の中にどのような情報を、どのような順序で入れるかを実際の中国の名刺などを参考にしながら話し合う。また、中国ではどのように名刺を交換するのかマナーも話し合う。交流会では相手の高校生にどのような質問をするか、してはいけない質問はないかなどをクラスで 話し合った後、ロールプレイで実際に名刺を交換し、質問をする練習をする。」

③ 最後は総括的な活動で締めくくる。

学習シナリオ記述にあたってのチェックポイント

- 学習者の年齢に合った内容になっていますか
- 学習者の動機づけを高めるものになっていますか
- 必然的でかつ作為的でない状況になっていますか
- 実現可能な(疑似体験でも可)学習活動になっていますか
- 学習者の言語能力レベルに合った学習活動になっていますか
- 学習指標を達成するのに適切な学習活動になっていますか
- 聞く、話す、読む、書く(4技能)がバランスよく入っていますか
- 活動が段階的に展開していますか
- 言語能力を高めるだけでなく、文化理解やグローバル社会の能力を伸ばす視点は入っていますか
- 学習者自身の経験や知識を生かし、他教科や教室外との連携を考えた活動になっていますか

評価活動

・形成的評価

学習を助けるために、語彙・表現の定着状況や大きな活動につながる準備活動の進行状況を確認するために、要所、要所で行う評価活動。ペーパーテストや口頭テストを課したり、ワークシートやメモを提出させて評価したりすることもある。

・総括的評価

単元の最後に行う評価。一連のコミュニケーション活動(学習シナリオ)の総括的な活動(ゴールとなる活動)を評価の対象とする。「めやす」の場合、ループリックを用いた評価方法を推奨している。

ループリックの記入サンプル(『外国語学習のめやす』pp.070より抜粋)

要素分解評価を4つのレベルで行なうループリック (提示モード／話す)

要素	レベル	4 目標以上を達成	3 目標を達成	2 目標まであともう少し	1 目標達成まで努力が必要
内容 ×2*		必要な内容より多くのことを創造性を使って表現。細かい点も詳しく説明している。内容も正確。	タスクの目的に適切な内容をカバーしている。創造力を使って詳しく説明している部分もある。内容も正確。	必要な内容を大体カバーしているが、細部は示されていない。内容はほぼ正確。	最低限の内容、あるいはそれ以下しかカバーされていない。内容に間違いもある。
構成		導入部にはじまり、話の展開がはっきりと表現されていて、結論までうまく話が構成されている。	構成の各部分間の推移が自然でないことも多少あるが、起承転結に沿って記述されていて、話の流れがわかる。	話の流れには沿っているが、それぞれの部分への推移がはっきりせず、部分間の関係が弱い。	起承転結がはっきりせず、それぞれの部分の関係づけが不十分。
理解しやすさ ×3*		文法、語彙、発音に多少問題はあるが、言いたいことは完全に理解できる。	文法、語彙、発音の大きな間違いがときどきあり、理解しにくいことはあるが、タスク達成の障害にはなっていない。	文法、語彙、発音の重大な間違いのために、ときどき理解できないことがある。	文法、語彙、発音の問題が多く、理解できない部分が多い。
パフォーマンス		生き生きしたスムーズな描写で、聞く人の興味をひく話し方である。	ときどき話がとぎれたり、速度が落ちることははあるが、相手にわかってもらうという努力が伝わってくる。	談話がとぎれることが多く、話し方も単調で、メリハリがない。	談話がとぎれ、発話量が少ない。

* ×2, ×3はそれぞれの評価要素が2倍、3倍に加重されて採点が行なわれることを示す。